

吉川市でもDXを推進しています

吉川市DX推進ビジョン

市では令和4年3月にデジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画を定め、取り組みのビジョン(基本的な考え方)を次のように定めています。

人に優しいDXの推進

～ 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化社会を目指して ～

- ① デジタル技術を活用し、市民の利便性の向上を図ります。
- ② デジタル技術を活用し、行政の効率化を図ります。



デジタル化の第一歩

マイナンバーカードを取得しよう！

DXは、企業だけでなく行政など公的な組織も同様に推進していく必要があります。行政がDXを進めることにより社会課題を解決することにつながります。

そうした中、デジタル庁ではマイナンバーカードの普及促進などを行うことで、DXを推進しています。マイナンバーカードを持つことで、給付金や各種手続きのオンライン申請ができるようになったり、インターネット上で個々のニーズに応じた行政サービスの情報を受け取ることが可能になります。

《マイナンバーカードで現在できること》

・ コンビニで次の証明書を取得できる

- ①住民票の写し②印鑑登録証明書③住民税課税(非課税)証明書④戸籍の全部事項・個人事項証明書⑤戸籍附票の写し
※④⑤は本籍地の市区町村によって、取得できない場合があります。

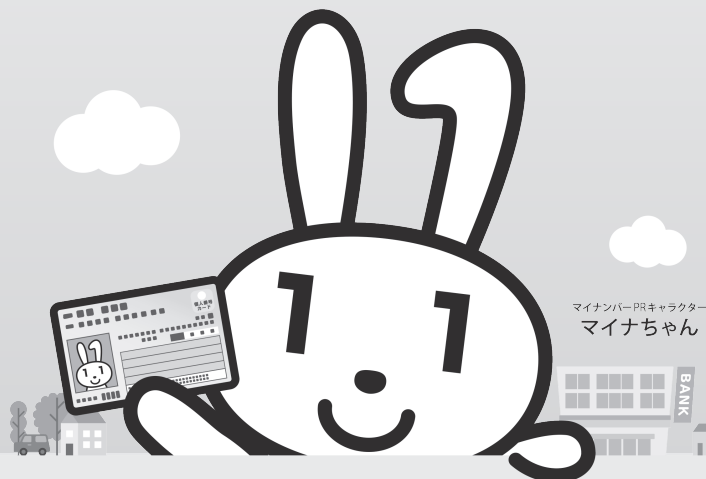
・ 本人確認書類として利用できる

・ 行政手続の電子申請ができる

個人情報のやりとりの履歴の確認や行政機関から配信されるお知らせを自宅のパソコンやスマートフォンで受け取ることができたり、e-Tax※などの電子申請が利用できます。

※e-Taxとは国税に関する各種手続きをインターネットなどを利用して行えるシステムです。なお、パソコンでの電子申請の利用にはICカードリーダーが必要で

今後マイナンバーカードでは、他にもさまざまなことができるようになります。



マイナンバーPRキャラクター
マイナちゃん